

露天商人の變遷

編輯部記者訪問速記

大村泰作

露天商人の變遷についてお話しする前に、この業者達が信仰してゐる神農さん——これは藥屋の神様と同じ神様であります——この神農さんについて一寸お話ししたいと思います。

この藥の神さんは印度では藥師如來、支那では伏羲神王、日本では大己貴命と申しておりますが、わが國ではその昔人皇第二十一代雄略天皇の御代に支那の伏羲神王が渡つて來られたのであります。此の伏羲神王と申す方は、代々非常に學問に勝れた御家筋のお生れでありまして、當時山東省方面に勃興してゐた、養蠶業を滿洲、朝鮮等に宣傳され、そして丁度雄略天皇の御代に我國に渡つて來たと傳へられてゐます。尤も日本に渡つて來られた時は

ハダノカワカツ、綾羽工女、吳羽工女の三人を御隨へになつて來られたのでありまして、朝廷に絹絲、羽二重等を献上されたのであります。後に伏羲神王が生活に窮し、自國に歸る事も出来なような哀れた状態になられたのであります。元來伏羲神王は學問に優れたお方でありましたので病人を訪ふては、その病の性質を見て或は木の實或は草の實を與へ、その報酬として食物を恵んで貰ひ、着物には木の皮などをとつて作つて着たりして、生活して居られたのであります。今京都太秦にある太秦神社は此の伏羲神王を祀つてゐるのであります。そしてその神社から五丁許り離れた處に太子寺といふ本山格の寺がありまして、その寺の境内の東南の隅に一つの堂がありますが、其の中にはハダノカワカツ、綾羽工女、吳羽工女の三人の木像が今に安置してゐると聞いてゐます。それから第二の神王さんは人皇第五十代桓武天皇が山城に御移り

になられた時ある高貴の御一人が悪疫におかゝりになられました御供が出來ず、奈良に止まられたのであります。手當をする術もありませんので遂に三笠山に登つて木の根、葉の根をとつて自分の病質に比べてその木の根、草の根で養生されたのであります。後年此の木の根、草の根にて庶民の命を助けられたのであります。此のお方が第二の神農さんであります。それから第三の神農は人皇第九十六代後醍醐天皇の御代に、典藥頭丹波といふ侍醫がりましたが天皇が吉野の山中にて政治をおとりになるや典藥頭は民間にあつて淋しく世を送つたのであります。今に於ても神農皇帝とし、或る方面では非常に崇めて居ります。此の三人が神農さんであります。以前は伏羲神王だけを祀つてゐましたが日清戦役後此の二人を加へて都合三人を祀ることになつたのであります。今日業者は此の三人を祀ることにして居ります。

そこで愈よ縁日業者のことに移りますが、縁日業者の中で、紙漉や紙を圓るめそれを引かして當物をする者をギリゴトシと申して居ります。此のギリゴトシに場所を與へることは警察が厳しいから各組合ではこれらの者に場所をやらぬことにして居ります。このギリゴトシと云ふのは、普通ベテン師のことです。此のベテン師の前にあつてサクラする者をトハ或は又マイシとも

申します。それからギリゴトシをやつてゐる本人をシンウチと言ひます。もとはシンウチをやる本人をドオロクと申しております。ギリゴトといふのは義理事から變じたものであります。それから今はあまりありませんが、居合抜き、御承知の長い刀を持つてやる者之をタテウチと申して是が業界の一番のタテモノでありました。このタテウチが朱鞘の居合抜きなどをする傍、今日の齒醫者の仕事即ち齒を抜いたり、入齒をしたり或は藥を賣つたりしてゐましたが今日では學校で一定の教育を受けたものでないと齒科醫となることが出来なくなり、斯様に今日之等は變つて來て居ります。今日未だに残つてゐる有名な獨樂廻しの松井源水などはこの業に屬します。それから假設興行の事がありますが、今日では立派な天幕を張つてやつて居りますけれども、明治二十年當時迄は延や菰等を張つて興行をやつてゐたのです。それが今日では非常に發達して菰の代りに天幕を張り、雨の降る日は防水布等を張つて前には金網織物等の裝飾をして、中には音楽等を入れてやつて居ります。曲藝も昔のものは不具者、手の一本しかないものとか足のないもの等つまらぬものを集めて見せ物したのですが、今日では動物を加へ、藝と技術とを高物と申して實に危険千萬な技術を行つたりするやうになりました。昔はほんの手品使ひの類

に過ぎませんでした。

興行をはる場所も今日ではなかく人間が利巧になつて、縁日許り追はず都會の人出の多い賑かな處へ行つて、ヒラビと申しまして幾日か假設興行の許可を得てやつて居りますが、なかく上手に金を儲ける様になりました。斯の種の業者は露天商人の中でも非常に改良された方でせう。

それから夜店でヤシ又はジンバイと申しまして、あらゆる小間物、雜貨、それからシャツ、メリヤス、食物、果實等便利商ひをやつて居りますが、これが一番多いのであります。その中で説明をして賣る、即ち膏藥、特許品等の如き説明商賣をするものをコロビと申します。すべて喋つてゐる者はコロビでありまして、古いものを新しいものと言ひ、又新しいものでも古いものとか或は店じまひ品であるとか、火災による焼け残り品である等、口實を設けて賣るのであつて、これはヤシの中の一つであります。此のヤシといふ言葉は藥神を藥師といふ處からヤシと言ふ様になつて來たらしいのです。今日よく夜店等で事故が起りますのは、このコロビの中にロクでもない者が居る爲でありまして、自分勝手な事をする者のあるのはさういふ仲間でありまして。それから御承知の空氣銃で品物を當る、或はマリをなげる、即ちタマナゲ等之を

ワリゴドと申します。これは前に話したギリゴト師とは違ふのであつてベテンではないのであります。

此の業界では組合の頭の家の相續といふことは、その組合の仲間の中から腕も達者であり、相當腹もあり、又腕白者をも統御して行くのだからおしのきく人間を相續人に選んで行くといふのが多いのであります。中には馬鹿でもその家の後を繼ぐといふ事があります。それはほんの少しであります。斯様な譯でありますから中には××乞食から出た者もゐるのであります。此の大阪で古い組頭の数を申しますと、以前は九軒でありましたが、それが段々殖えて明治二十年頃には十四軒となり、三十二、三年頃には二十二軒となり、四十年頃には二十七軒になりました。是は分家といふ様なことで殖えてゐるのです。従つて業者もそれに伴つて段々多くなつてゐます。今では大阪に關西神農聯合會といふ會が組織されてありまして、郡部のものすべて加へますと、その加入組合数は大正十年頃が三十三、昭和五年が六十、昭和九年には七十三組といふ澤山な組合でありまして、年を経るに従つてその数を増して居ります。現在會員の数は約一萬二千人位であります。聯合會に加入してゐない組合の者を加へますと、露天商人の数はその家族共おそらく十萬人を越すことと思ひます。

面白い現象は世の中が不景氣になると業者が多くなることで、不景氣の年になつて會社等で盛に首切りが起りますと、よく私達の處に來て賣子にならして呉れと言ふ者があつて困ります。かうして這入つた者は此の職に多少味を占めますと、もうやめられなくなるのです。と申しますのは晝は遊んでゐて夜商賣をして、翌朝はゆつくり寢て居られる。別段朝八時から晩は何時までちゃんと勤務せねばならぬといふことはなく、又雨の降る日なんかは商賣はなく、活動好きな者は活動を、萬歳好きな者は萬歳を見にといふ様に各々自分の好きなことをしておられますから、一度此の仲間に入つて味を占めたらもう止められないのであります。

商賣の方も經驗も積み、顔馴染みも出來ますと、良い場所もとれて商ひも良く出來ますが、若しさうした機會がない場合は良い場所もとれず、商もないといふ有様で馬鹿くしくして止めてしまふといふ人もありますが、之を貫いてやつて來た人はもうこの商賣は止められないのです。かうした者が半数位あるでせう。

それから道路に出して居る圍碁とか、將碁、あれはインチキです。之は昔は全然なかつたのですが、十二、三年前頃から出來たのであります。夜店では警察が厳しいので組合ではあれには場所をやらなさいです。道であれをやつてゐますのは警察の眼を逃れさせて見張りをやつてゐるのです。あの見張りをつけること

をウエシと申します。彼等は春先の人出の多い時等には原價三錢か五錢位のおの製本二、三十冊もあれば五十圓乃至百圓位儲けるのです。若し警察に擧げられることがあつてもそれは、ほんの警察犯處罰令にとはれるだけでありまして、拘留されてゐる間その家族は仲間の者達がすべてのことを世話して行つて居ります。かういふ者や前に申したコロビ等の中の不しだら者等のために正直な一般露天商人がどんなに迷惑してゐることか！私はかういふ者は一切出入させないことにして居ります。

それから私は仲間入りを申込まれますときは常にその人間の行狀を調べ戸籍謄本までとつた上本人を訓戒して、一時はかう云ふ社會に這入つて表はこんな仕事をして内には常に世の中に希望と努力を忘れない様にしてみたら世の中を健かに送る事が出来る。今は昔と異つて愛と情といふ事を胸に置いて仕事をしなければならぬ、そして家庭を圓滿にして暮して行くのが即ち國家への義務だと言ひきかせてゐます。社會に壓迫され勝ちな我々も斯様にすれば人から信ぜられもし、又金を持つてゐる許りが國家へつくしてゐるのではない、眞面目に稼ぎ人様にお世話にならぬ様にするのが國家への義務である。斯様に私は申して居ります。

露天商人の立場より

矢野辰治郎

夜店は大分古い時代からありまして、今日から二百六十餘年前頃已に新町橋詰に夜店が出たといふ事が書物にのつております。

初め夜店は町内の人達がその町内を賑はすためにやつたものでありまして、それが段々發展してあちこちに出来るやうになつたのであります。夜店は土地の發展上から歓迎され、次第に今日の如く盛んになつたのであります。夜店が有りますと、人々が多く出てその町が賑ひますので、町を賑はすためにその町内の人達が夜店をしてくれと頼みに來ることがありますが、その半面に夜店が有りますと交通の不便、その他いろいろの點から邪魔扱ひにされることもありまして私共としましてはそれが甚だ苦痛であります。

此の夜店もこれまでの様に規則が寛大でありました時はたやすく出来ましたが、近頃ではなか／＼喧しくてそのため店を出すのに非常に骨が折られます。

此の夜店を出す人々は殆んどルンペンに近い、言はゞ社會の落

が出てゐますが、この業界にはそれが全然ありません。これは何故かと申しますと、私共業界のものが何か式事や集りをする時は必ず掛字をつります。

今上陛下、神農さんの掛字を作りそれを何かの式事の時にかけるのであります。それで言はず語らずの中に、そんな都合な事をする者が出なくなるのであります。

それと任侠といふことを非常に尊びます。然し時代の變遷につれて昔の面影は大分薄くなつてゐますが、それでも未だに多少はのこつております。業界も人数が澤山でありますから、その中には此の任侠をはき違へる者もないとは限りませんが、それは極く少数であります。

それと、政府なり、或は府、市なりで労働者や極貧者の救済問題を喧しく言つてゐられるやうであります。私ども業界にはそれに頼らうとする者が比較的少いやうであります。又それにすがらうとも思つて居りません。只商賣をやつて行けましたら良いのであります。ところが今日は警察の取締がとて嚴重で、そして場所など普通の道路では片側しか許されません。六米以内の道幅の所では夜店は全然許されません。六米以上の道幅の處で片側だけ許され、十米以上の道幅の處でありますと、兩側を許可して貰へま

伍者の寄り集りであります。夜店は資本が大して要らず、場合によつては三圓或は五圓位で出来て、それでその日の生活がまあどうにか出来るといふ風ですから、夜店を出す人が段々殖えて來ます。是は近年の不況で失業して困つてゐる人等は、色々救済はされてゐますが、それ等を全部救済するといふことは不可能でその救済にもれた人達や、又獨立心の強い人達は、遊んでもゐられないといふ處から夜店でも出さうかといふ譯で、この夜店出しが次第に殖えて來たのであります。方面委員から生活に困つてゐる人などを夜店を出させて呉れと頼まれることもありませんが、そんな場合はかりに百軒なら百軒の店出しの所へ百十軒も百二十軒も出て來た場合十人なり二十人なりどうしても歸つて貰はなければならぬ。こんな時私共は方面委員の手を経て來た人達には何んとか都合してやつて居ります。私共は之等の人達に直接物質的に恵んでやるといふことを出来ませんが、その代りいろいろと便宜を計つてやることにして居ります。夜店も天氣が續けばよいのですが、雨の時などは全然出来ない商賣であり、その日暮しの貧困の人達には随分つらいことです。

私達業界の誇りともいふべきは、新聞で見ますと智識階級の人達に限つて共產主義者とか、極端な社會主義者といふやうなもの

す。それから昔からある所などは認めて貰へますが、新規にやる所は殆んど許されない状態であります。

ある夜店に於て例へば説明販賣等の店のために二十軒の場所を振り充てゝゐるとしますと、その二十軒に對して二十軒の商賣人が出て來るとよいのですが、若しそれより澤山の人が出て來る時はそこに問題が起つて來ます。そこで其等が二人で一つの店をやるといふ風に相談をしてその結果利益は分けるといふやり方をしています。ところがそんな具合に共同して店を出せるものはそれでもまあよろしいですが、説明販賣以外の多くの店はそれが出来ません。折角荷物を引いて來ても又すぐ／＼とその日はアブレて引き歸らねばならないといふ悲しい目を見ねばならないのであつて、前にもお話し申し上げた通り、今日百軒の店出しの所へ百二十軒も百三十軒も出て來るのが普通であり、アブレた人達が外の夜店へ行けるやう晝十二時頃場割をした事がありますが、よそでも同様にそれをやつてゐますから、よそへ行つても同様アブレるといふ譯であります。私は夜店があるからと云つて別に事故は起らないと思ひます。實際一つも起つてゐないのです。これは夜店に來る人々はお互ひ氣をつけてゐますし、又車止をしてゐるのですから事故の起る餘地はないのであります。此の車止は夜店の

ない時は眞直に通つて行けるのに夜店のあるため廻つて行かなければならないといふ不便がありますが、然し夜の事であり此の影響は少ないと考へます。

只今は百貨店が各所に出来まして夜店で賣る様な品を同じ値で恰度夜店の様に種々な物を賣つてゐますため、又大丸とか高島屋などでは時には説明販賣もしてゐますが、そのために夜店は百貨店に押され氣味であります。

商賣の道を早く覺えるのには店出しが一番良いと私は思つてゐます。その人が正しく渡つて行く人でありますと必ず成功致します。第一そんな人は商ひぶりが違ふのです。だからそんなのはあまり失敗致しません。それから此の夜店によつて數萬の富をつくつてゐる人もありますが、それを忘れないために未だに自身店出しをやつて居ります。夜店商人の悪い時代はもう過去のことでありまして今日ではそんな悪いものはゐません。

警察では時々夜店などいふものは必要はないと言はれるけれども、私は夜店といふものは、その近傍の人々の慰安であると考えてゐます。品物を買ふにも夜店があれば散歩がてら一寸出て求められますが、夜店がないとすると邊鄙な所でありますと遠方まで電車賃などを使つて應々出かけて行かなければなりません。

これらは世話役なり私達からやかましく注意して居ります。

(六月十八日文責記者)

露天商人の生活實相

高 岡 重 允

一口に露天商人といつても種々ありますが、放浪的なものは極く少く、夏祭とか秋祭といふ様な場合は遠方の處まで出かけて行きますが、それ以外は余り地方へは行きません。極く少數の人と申しますのは手輕な荷物を持つ人で、同じ處に許りゐたのでは商賣が出来ない種類の者達で、旅から旅へ渡つて行くのです。この旅から旅へ行くものは御承知の、いろ／＼面白い事を言つて大衆を惹きつけて置き氣合術、法律の本、計算術、藥の調合法等の本を賣るものであつて、これらが大言つて居ります。

これらの者の住居の本據はちやんと大阪に持つてゐまして、二三ヶ月旅から旅を廻つては大阪に戻り、一ヶ月間位こちらで近くの廣場や縁日等で商ひをします。かくその土地にて平日商をするのをこれをヒラビと申します。この大言はまあ雄辯の方でないと出来ません。大概この大言は専門學校とか大學を中途退學したや

今日都市緑化といふ事がやかましく言はれますが、夜店で買はれる植木は大したものではありません。夜店がないからといつて電車に乗つて遠方まで買ひに出かけられるものではありません。かうした處が社會奉仕の一助になつてゐるだらうと私は思つてゐます。夜店は交通上から見ますと幾分支障もありませんし、又萬一火災などありました場合消防が通れないといふ懸念もありませんが、私は何十年夜店をやつてゐますが、夜店の處に火事がありましたのは只の一回だけです。しかもそれは夜店の處ではなく一寸離れた所にあつたのでありまして夜店は消防の通路には少しも邪魔にはなりません。

兎に角夜店は取締上からも一般の人達からいけないといふ様に見られてゐますが、それは悪い方許りを見てゐられるのでありまして偶には自分のパンを得るために喧嘩もすることがあります。それが極く僅かで、決して警察の人や一般の人から見られるやうに夜店出しは悪いものではないのです。私達は何も物質上の補助は受けやうとは思ひませんが、只交通上の取締りの方を、もし何とかして頂きたいと思ひます。半面夜店出しの方にも中には悪い處があつて例へば三尺の處を四尺に使ふものがあり又前に出るのがあります。時には店臺をおき後に車をおく者もあります。

うな人がなります。それで之等は比較的頭がよく、辯舌も出来るのです。又氣合術等もこの種の人達がやります。此の氣合術の商賣でも二年なり三年なりの修業をすれば出来すから別に小さい時から修業する必要はありません。中年頃からでも修業出来るわけです。此の大言は普通の夜店に比べて比較的儲けがよく、賣上げの七八割の利益がりますが、然し道中の費用、それと働く日數の少ないのを考へると、いゝ加減なものになります。これ等の商賣に使ふ本は藥の調合法とか、法律の本などは松屋町邊にちやんと賣つてゐるやうに聞きますが、氣合術とか計算等の本は自分で考へ出すのです。この大言と一寸似たものにコロビがあります。コロビといふのは店臺の上に品物をおいて説明をして賣るのです。此の品物には大根オロシ、鼠取り、米磨器、毛糸の揚伸しアイロンその他種々の新案物、又藥草もこの類にはあります。それから飲食料品では速成コーヒ、レモン水等の飲料水等があります。大阪にある七十四組の中コロビの方を含んでゐる組合は可成りありますが、大言を含んでゐる組合はそう澤山ありません。この大言コロビは市外には余りなく、又市外に住む其の他の露天商人は店出しするにも祭の時とか縁日の時とか、百姓をしてゐる片手間に出す場合もあつて、百姓と露天商とどちらが本職であるか

ぐわからぬ状態であり又生活にも余蘊があるためか市の者のやうにバタ／＼致しません。話が先行になりますが大やコロビの行先はこの近畿は申すに及ばず内地は殆ど全部で、遠いものでは滿洲邊りへも行きまして儲けた金は旅先から仕送りして來ます。それから夜店を出す人が親代々からの所謂傳統的な露天商人といふものは余りなく、例へば會社などで年齢とかその他の事情で首になつたり、或は商賣で失敗したといふやうな人が僅かの資本で生活出來るといふので私達の社會に這入つて來るのです。従つて中年から始める人が多いわけでありませう。現在この大阪で組頭で親譲りといふのは数人位しかありません。此の夜店商は他から見ますと呑氣なやうであります。随分複雑なこともありまして余り賢い人でもないし、又ボンヤリした人でもないけせん。つまり社交にたけ、商賣に相當手腕のあるものでなければ一寸此の商賣は出來ないと思ひます。それから尋店(ジンミセ)これは夜店商人の大部分を占めるもので、古本類、植木、雜貨、玩具、飲食物、小間物、化粧品その他あらゆるものを出してゐるのであつて、荷物も大きいし又そう轉々としなくともその土地でいつても賣れるものだから遠方へはあまり行かず、その土地で商賣をするのであります。例へば自分の現在の位置で申しますと西は谷町

東は小阪、平野邊等迄位しか行きません。是は一つは一日から三十日までその近くのどつかに次々と夜店の日がありますのと、遠方は遠方で又その土地の組から参りますので、余り遠くは行きません。しかし店出しは他所から來た場合は客人として優遇して自分の組の場所をその人の爲めに充分便宜を計つて取持つことになつております。この客人をよくもてなすことは、全國何處へ行つても同じ事で、私共が又他へ行きましても、私共がするやうにそれ相當の取持をして呉れます。これが我等同業者間の禮儀であり所謂仁義であります。此の仁義の事を一寸申して見ますと、仁義は全國定まつてゐまして關東辯であります。此の挨拶の文句を申しますと「御免なさんせ。手前の生國は何處何處の……區の……丁目……町に御座んす。縁持ちまして親分と申しますは……組長何の某、若いもんの身をもちまして姓名發しますは失禮に御座んす。姓は何々、名は何々と申します兩三日のかけ、出しもんに御座んす。何處何地に参りましても親分衆お供達衆の御厄介になり勝のものに御座んす。而體御見知りおかれまして、恐惶萬端御懇にお頼み申します」といふ挨拶を申します。それから受け答への挨拶がありますが、之も大體同様で矢張り生國、親分、自分の名等を申します。此の挨拶は全國共通で私共の爲さねばならぬ道具

になつてゐます。此の挨拶の仕方やその時の態度に依つて、ネス(素人のことをネスと申します)であるかどうか直ぐ判ります。だからこの挨拶が出來ないものは、どつちかと云へば粗末にされます。それは別にわざと粗末にする譯ではありませんが、他にとりもつ人達が多いのですから自然全般に對して充分に満足と與へられぬ場合もあるわけです。それからその組に這入つて間もない者は平人と申し、それから段々周囲の事情なりいろ／＼の經驗が積んで來ますと世話人となるのです。此の世話人は夜店の時に店出しのことを種々世話したり、又平人を養生指導致します。

店出しの場所は多少の變動はありますが、大體定つて居ります。例へば一つの道を上と下と致しますと上から先づ尋店を並べその内にコロビを入れ又次に尋店を入れ、又コロビを入れそれから最後に古本店とか植木店といふ風に致します。

植木屋は大阪に誠明會と東會といふものがありまして、それが大阪全市の植木屋の集團をなしてゐます。此の植木屋は自分が田舎におつて植木を造り、こちらに賣りに來るといふ者もありません。古本は市内に日本橋の五會附近日東町の附外數ヶ所に市がありまして其處に行きます。それから果實等は殆んど中央市

場へ買ひに行きます。玩具、駄菓子の類は松屋町、化粧品、小間物類は久寶寺町へ求めに行きます。金物等は問屋が其處此處にありますから何處から買ふといふやうに定つてはゐません。瀬戸物これは市内で買ふ者も多少はありますが、殆んど原産地から直接取り寄せます。それから晝店ですが、之も殆んど一ヶ月毎日どこかにありますが、晝店へ行くものは殆んど晝を専門に廻つており夜店出しで晝店へも出るものは割合少いです。大阪附近で晝店の立つところは住吉、赤川、豊中、伯太、太田、山崎、森垣内、御厨、八尾、平野、吹田、堺、泉南方面其外數ヶ所あります。

尋店の収入は資本の程度にも依りますが、先づ資本を申上げますと、最低五、六圓位から最高五、六十圓が大部分を占め又中には百圓を越すものもあり、資本の要る品は雜貨類、袋物類、小間物類、化粧品類、玩具類其他で飲料の方は四、五圓から二、三十圓位でやつておりました。それで収入はどうかと申しますと、最低一圓二、三十錢位最高三圓位のもので、特殊のものは其の限りではありません。天候の加減もあり一月の中よく働ける月で二十五日位ですが、大抵二十日位しか働けません。

それから夜店の時に要る電燈料が市内は一晚に十三錢、是は五十燭であります。それから組合の掛金が一體一ヶ月一圓、それに

衛生費即ち夜店のあとで道路掃除をしますが、其の衛生費として五錢を納めます。収入はざつとこんな具合ですから、自分一人ではとても家族を養つてゆくことが出来ないと云うから、大部分は自分は營業に出る、家族は内職をするといふ風にして家内總稼ぎといふ状態であります。

最後に私は昔と今日の客の心理と業者の心理と、大分變つて来たと思つて居ります。客の方から見ますと、昔は夜店には夜店情緒の味はひあり一種の娛樂の様に感じてゐましたが、又業者中には悪い物を良い物の様に胡攪化してそして利益本位でゐたのですが、近頃は各所に追々百貨店が出来て、業者と同一の品を賣つて居りますので、どうしても客は露天の品よりも百貨店の品を信用して百貨店の方へ行つてしまふ、だから近頃は夜店商人も利益といふことよりも、よりよき品を出さなければといふことに段々目醒めて來ました。此の大阪市に現在一萬からの業者がゐますが、どうも社會からは冷やかな眼で見られて居る様に感じて居りますが、之は業者の中には未だに昔氣分が去らない關係もありますが、又客の方としまして、さういふ昔の悪い商人の印象が未だに去らないといふ風で種々誤解されてゐるのであります。それが爲我等業者一團となつて大阪府公認關西神農聯合會を組織して業界の發

展と品位の向上を計つてはゐますが將來に於いて一般大衆からも信用と聲援とを受けるやう業者各自の努力が必要です。要は各自の反省と誠意を以て社會に進むといふことが、我等業者の先決問題であり義務であると考へます。(六月二十日文責記者)

交通上より觀たる

聯合露店に就て

井 上 壽 夫

大阪市内の道路上に於て、聯合露店(以下單に露店と稱す)の開設せらるゝ場所が、約二百八十(夜店が約二百四十、晝店が約四十)あり、毎日二十四、五ヶ所づゝ開設せられて居る。

交通取締規則では祭典縁日等の爲、露天を出さんとする時は警察署長の許可を受ける事になつて居る。この場合は規約を定め沿道居住者の同意書を添へ願書には

- 一、出願者の本籍、住所、氏名、年齢、職業及經歷
- 二、期日及開設の日時
- 三、區域及其の道路の幅員

四、世話係の住所氏名

五、出店者より金品を徴收するものは其の金額及費途を記載することを要する。而して左記の場所には出店を禁じて居る。

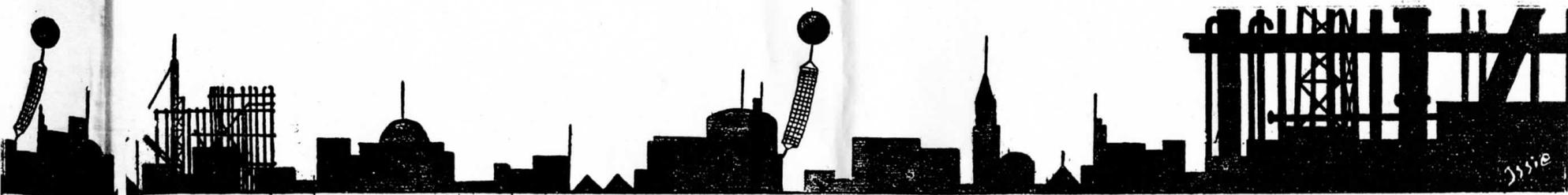
- 一、各店の出幅は道路の端部より一、五米以内なること
- 二、交叉點又は曲角より五米以内に不出店せざること
- 三、路次又は建造物の出入口を閉塞せざること
- 四、火災報知機、消火栓又はマンホールより三米以内に不出店せざること

現在の露店開設の多くは、殆ど所謂町内發展を目的として、出願されるのであるが、其の實狀を仔細に觀察するときは、出店自体が一般の交通上支障の尠くないものがあるばかりでなく、露店を出されるが爲に迷惑を感じて居る沿道の住民もあれば、又露店業者間に於ける所謂コケ料等の舊弊は、出店業者自体さへ非常な迷惑を蒙つて居る状態であつて、整理改善を要する點が尠くないのである。之等多年の積弊を匡正する主旨の下に、數年來出願者及世話係を、素行善良なる沿道の住民たる事に制限すると共に、願書には沿道居住者の同意書を添へさせる事にしたのである。

又露店を許す場所は言ふ迄もなく、交通上の差支ない場所であるが、大阪市の交通状態から見るときは、斯様に露店を許しても

交通上全然差支がないと言ふ場所は、殆んど無いと言つても宜いのである。況んや急激なる發展を遂げつゝある、將來の交通量の増加を考慮するときは、市内の道路に於て露店の許可を爲すことは、餘程考慮を要する問題である。率直に言へば寧ろ現在の露店に對し、大整理を加へねばならない状態である。此の見地から現在府に於ては原則として新規露店を認めず。從來許可せられたるものと雖も交通状態から見て支障あるものに對しては、漸次之を整理する方針を以て處理して居るのである。

露店の交通上支障の尠くないことは、詳しく説明を加へる必要もないであらう。尙此の外に聯合露店には内面的に種々なる積弊があるのである。曰く見舞金、香料、仲裁、指入、迎ひ等々凡ゆる負擔は出店業者に課せられ、時には賣上代より支出の方が多い場合があるときへ言はれて居る。不良香具師が常に敢行する俗に稱する「コケ料」とは出店の意思なきに拘はらず、一定場所の占得を主張し其の場所出店より理由なき金品を徴收する事を言ふのである。之は賣上げの多い開設場所程横行する。之等は露店の内面的弊害の一斑に過ぎない。所謂聯合露店の内情に通ぜば通ずる程、弊害の大なるものあることを知ることが出来る。露店開設の是非に就ては他日に譲るが、之に依り小資本を以て多年其の生計を維持しつゝある者の立場も考慮しなければならぬ。兎に角聯合露店に關係する者、全体がもつと時代に目醒め自治自律舊弊の一掃に努むることを切望して止まぬ次第である。(六月二十五日文責記者)



23
27

社會事業研究 七月號目次

☐社會事業スケッチ その二十八「更けゆく夜店風景」……………岡野三郎 畫

☒社會事業グラフ 向上俱樂部の學藝會 臨地研究會における實地見學
竣工した中村塾々舎 婦人内職講習會と附設託兒所

慈善事業、社會事業及公益事業……………仲井眞一郎 (1)

社會事業に於ける思想と施設……………村川 敬藏 (9)

米國に於ける社會事業の傾向…ジエローム・デビス (14)

保護少年の集團的行動……………松岡眞太郎 (18)

矯正教育の主要問題(1)……………長尾 實立 (38)

露天商人を観る……………葎間 惠文 (49)

街氣もの 紙芝居と紙芝居師の生活……………田 中 正 (55)

露天商人の變遷……………大村 泰 作 (60)
 露天商人の立場より……………矢野辰治郎 (64)
 露天商人の生活實相……………高岡重 允 (67)
 交通上より觀たる聯合露天に就て……………井上 壽 夫 (70)

國際庭 園……………前田 松 苗 (72)

ウィリアム・ブリス……………葛岡常治 [(78)]

日本社會事業に於ける封建思想の批判……………磯村英一 (85)

社會事業雜誌の性質と職能……………竹中勝男 (91)

